



## 稗田川に棲む“大家族”

### 稗田川の「かるがも」

かるがもは、自然豊かな稗田川のシンボルのひとつ。特に高取小学校付近では、家族なかよく泳ぐ姿を目にしたことがある方も多いただろう。かるがもは縄張り意識が強いので、群れは一定の距離を保ちながら暮らしている。水辺の草むらや乾いた土の上に枯葉や枯草を敷いて巣をつくり、年1回(4~6月ごろ)、10~12個の卵を産む。ふ化したひなは、親鳥からエサ(水草・水生昆虫・貝など)を与えてもらうのではなく、自らエサを捕って食べる。親鳥は近づく外敵を追い払う警備役に徹し、ひなが成長し、飛べるようになるまで見守り続ける。

「ひなはカラスに狙われやすい。でも、カラスは人の気配を嫌がるから、高取小学校付近で多くのかるがもを見ることができのかもしれないね。実は稗田川では、かるがも以外にも約20種類の鳥を見ることができんですよ。」と語るのは、稗田川に生息する鳥や魚の生態に詳しく、高取小などで環境学習の講師役も務めている倉内和十四さん(清水町)。

稗田川や上流の鮫川では、子どもから高齢者まで、多くの地域住民が水質浄化活動や環境美化・保全活動に取り組んでいる。そんなことから、かるがもをはじめとする鳥たちも、きっとこの地が棲みやすいのだろう。

#### 稗田川で見られる主な鳥

〔通年〕

カルガモ、コサギ、アオサギ、ハヤブサ、カラス、モズ、キジバト、トビ

〔秋~冬〕

ハクセキレイ、ホオジロ、ショウビタキ

〔春~秋〕

ムクドリ、ヒヨドリ、ツバメ、メジロ、ヒバリ、カワセミ、ケリ

## “撮っておき” の たかはま

### 【第50回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

# LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください! (P.22)

広報たかはま  
編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2  
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110  
<http://www.city.takahama.lg.jp/>  
電子メール [info@city.takahama.lg.jp](mailto:info@city.takahama.lg.jp)

早期配布にご協力ください。



VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。